



鳥羽市は「自ら学び心豊かにたくましく生きようとする人間の育成」を目標としています

とばし教育委員会だよい

2015. 11. 1 第6号



かみしま潮騒太鼓

鳥羽市民大運動会で太鼓披露堂々と 「息を合わせて叩きました」

10月10日（土）鳥羽市中央公園野球場において、第50回鳥羽市民大運動会が開催されました。開会式では志州飛島太鼓（小浜町）とかみしま潮騒太鼓（神島町）が披露され、運動会のオープニングを飾りました。子どもたちが仲間と一緒に息を合わせて一生懸命に太鼓を叩く姿は、集まった多くの市民の注目を集めました。

発行 鳥羽市教育委員会

とばっ子、がんばる！

～平成27年度「全国学力・学習状況調査」の結果をお知らせします

秋も深まってきた。昔から「〇〇の秋」と言われ、子どもたちはいろいろなことにがんばっています。学習面ではどうでしょうか？

全国学力・学習状況調査結果

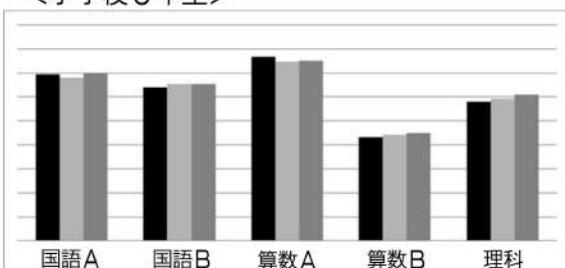
*4月実施・8月発表

対象：小学校6年生・中学校3年生

教科：国語、算数・数学、理科

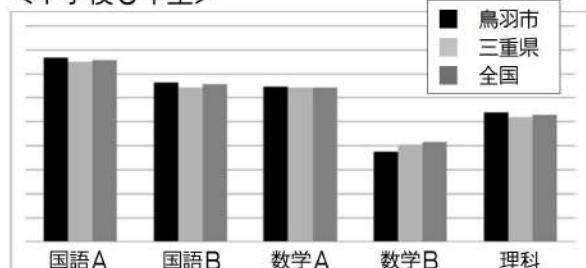
A問題（知識の定着）、B問題（活用力）から構成

<小学校6年生>



◎算数Aが全国平均を上回りました。ほかの教科も昨年度より全国平均との差が2ポイント以内に縮まりました。

<中学校3年生>



◎5教科中4教科で全国平均を上回りました。数学Bは下回っていますが、全国平均との差が縮みました。

小・中学校ともに無回答率が低くなりました。あきらめずに粘り強く取り組む姿勢が表れています。

**子どもたちのがんばりをほめたいです。
それを支えたのは先生たちの熱意と努力、家庭の声かけです。**

がんばることができたわけ



① 学習規律が身についてきました

「学びの基本（※1）」の導入により、学びのルールが作られ、子どもたちが学習に取り組む姿勢がよくなってきました。

② 家庭学習が充実してきました

「家庭学習の手引き（※2）」の活用により、子どもたちが主体的に家庭学習に取り組むことができるようになってきました。家庭での見届けの効果も出てきています。さらなるご協力をお願いします。

③ 授業改善に取り組んでいます

授業に「めあて」と「振り返り」の活動を位置づけ、応用力をつける授業の工夫を続けてきました。

④ 授業以外でも繰り返し学習しています

朝の学習や放課後の指導で、反復学習・補充学習に取り組んできました。夏休みや冬休みにもがんばる時間がありました。



これからも、教育委員会・学校・家庭が連携し、わかる喜び・学ぶ楽しさを感じられるよう、いっそうの学力向上を図っていきます。

※1「学びの基本」

鳥羽市の学びの基本形です。持ち物や学習態度、ノートの使い方などを示し、どの学校でも同じように取り組めるようにしたものです。

※2「家庭学習の手引き」

家庭学習の進め方について、子どもと保護者に具体的に示したもので、各学年での学習時間のめやすや学習内容、家庭での援助などについて書かれています。

○どちらも学校から家庭に配布されており、鳥羽市のホームページでも見ることができます。



宮瀬 克行 みやはまかつゆき

平成13年度に会長就任。また、鳥羽口・タリーラークラブの役員を歴任され、国際交流など様々な事業の開催を通して幅広く青少年の健全育成に活動されています。

市民みんなで力を合わせ、鳥羽の教育を高めていきましょう。さまざまな分野の方にその熱い思いを語っていただきます。今回は、市青少年育成市民会議会長の登場です。

子どもたちは地域の宝です。市民会議の活動を通じて鳥羽への愛着を持つきっかけになればと思います。今後も子どもたちの健全な成長を地域の皆様と一緒に支えあいながら、夢と希望のある鳥羽の未来につなげていきたいです。

子どもたちは地域の宝です。市民会議の活動を通じて鳥羽への愛着を持つきっかけになればと思います。今後も子どもたちの健全な成長を地域の皆様と一緒に支えあいながら、夢と希望のある鳥羽の未来につなげていきたいです。

市民みんなで力を合わせ、鳥羽の教育を高めていきましょう。さまざまな分野の方にその熱い思いを語っていただきます。今回は、市青少年育成市民会議会長の登場です。

青少年育成市民会議は鳥羽の子どもたちの健全育成のため、地域、家庭、学校、そしてあらゆる団体と連携、協力しながら活動しています。各地区の育成会では、子ども達の一層近くで同じ目線に立ち、安全・安心と豊かな成長を願つて独自性のある活動をしていただいています。市民会議では、「親子凧作り教室」や「新春凧揚げ大会」、年2回の星空観察会「スター・ウォッキング」、機関誌「月桂樹」の発行が代表的な活動です。

毎年1月3日に鳥羽高校グラウンドで行う新

春凧揚げ大会は、来年で14回目を迎えます。

親子で作った凧を新春の空高くあげ、満面の笑

顔で喜ぶ子どもたち、うまくあがらず苦労して

いる風景も正月の恒例となっていました。スター

ウォッキングでは、星座の勉強や天体望遠鏡で

月のクレーターなどを観察します。また、「月

桂樹」は主に年間の各地区的育成会活動を掲載

し、皆様にお届けしています。

夢のある活動を目指して

— 育成会活動の紹介 —

長岡スポーツ文化クラブ

教育委員会生涯学習課

長岡スポーツ文化クラブは総合型地域スポーツクラブとして2007年に長岡地区5町を中心に発足しました。総合型地域スポーツクラブとは、会員になることで、幅広い世代の人々が各自の興味や関心、競技レベルに合わせ、さまざまなスポーツに触れる機会を提供するものです。文化活動にも取組んでいるのが特徴です。スポーツ文化活動のほかにも、イベントとしてウォーキング大会やスキー教室、1DAYキャンプなども行っています。

教育委員会では総合型地域スポーツクラブを支援しています。



「給食おいしい、全部食べたよ」

かもめ幼稚園

今 年から幼稚園給食を行うようになりました。給食を通して、みんなで同じものを好き嫌いなく楽しく食べることや、食の大切さに気付いてもら



えるよう、職員一同奮闘しています。はじめは「食べさせて」と言っていた子が次第に「自分で食べる」となり、表情が自信に満ちてきました。多くの保護者からは、負担が軽くなったと大変喜んでいただいています。多くの人のかかわりによって給食が実施されていることも子どもたちに伝えていきます。

(月2回程度弁当昼食も行っています。)

大松香員長 長い間お疲れさまでした — 教育委員の交代 —

平成27年9月30日をもって、教育委員長であった大松正嗣さんが退任されました。大松さんは平成15年10月に教育委員に就任されて以来、12年間にわたり委員や委員長として鳥羽市の教育活動にご尽力いただきました。また、10月1日からは新たに岡村忠夫さんに教育委員に就任いただきました。



大松前委員長

12年間の委員会活動、いろいろな取り組み、さまざまな体験、多くのことを学び感謝の一言です。成果を問われれば・・・?今後は一市民の立場で教育行政の発展に協力させて頂きたいと思います。



岡村教育委員

今日においては、教育課題が多様化、複雑化しておりますが、鳥羽の子どもたちのために、教育委員として微力ながら取り組んでいきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

冬場の感染症にご注意



これから、インフルエンザなどの感染症が流行する時期になります。こまめな手洗い・うがいを心がけましょう。

剣道で兵庫県三田市と交流

—答志剣道・鳥羽武道館剣道スポーツ少年団—

現在、鳥羽の少年剣士は、答志剣道と鳥羽武道館剣道の二つの団体に所属しており、幼年から中学生まで約50人が互いに切磋琢磨し日々の稽古に励んでいます。剣道の魅力は、老若男女問わず皆が一緒に稽古できるところです。子どもたちは、先生・先輩から日本の良き伝統文化である「武道の精神」を学んでいます。10月18日には、鳥羽市と友好都市提携を結ぶ兵庫県三田市から約30名の少年剣士が訪れ、稽古や試合を通して交流を行いました。



白熱した三田市との交流試合

11月は 『いじめ防止月間』です。

平成24年に起きた滋賀県大津市でのいじめ事件を受けて、いじめ防止対策推進法が制定され、いじめ防止のための様々な手立てが講じられてきました。しかし、本年7月の岩手県での事件など、依然としていじめに関わる問題は発生しています。

いじめは、決して許されない行為です。
いじめはどの子にも、どの学校においても起こりうることであること、また、だれもが被害者にも加害者にもなりうるものであることを十分に認識する必要があります。

いじめへの対応として重要なことは、未然防止、早期発見・早期対応です。いじめの兆候を早期に発見し速やかに対処すること、いじめを見逃さないこと、事態を軽視しないことが大切です。

■鳥羽市の取組

鳥羽市いじめ防止基本方針の策定

鳥羽市いじめ問題対策連絡協議会の開催

■各学校での取組

学校いじめ防止基本方針の策定・いじめに関するアンケート実施・いじめ防止対策のための組織設置

学校・家庭・地域が一体となって 子どもたちを見守りましょう

☆気になることがあれば下記の窓口に相談を

各学校

鳥羽市教育委員会 ☎ 0599-25-1265

鳥羽市教育支援センター(HARP) ☎ 0599-25-2457

いじめ電話相談 ☎ 059-226-3779 (三重県)

子どもの人権110番 ☎ 0120-007-110 (法務省)

文化財紹介 賀多神社の能舞台

鳥羽二丁目の賀多神社には、祭礼に奉納される神能楽に使用される組立式の能舞台があります。この舞台は江戸時代の嘉永7(1854)年に造られたもので、舞台につながる橋掛も備えた本格的な造りであり、能舞台の初期の形式を踏襲している貴重なものです。平成6年には県の有形民俗文化財に指定されました。10月18日には、約20年ぶりに神社境内に組立てられた舞台で薪能が奉納されました。



約20年振りに組立てられた能舞台

編集後記

山本昌さん、和田さん、谷繁さん引退。そして大松委員長退任。とても寂しいことです。大松さんの抜けた大きな穴を、他の委員さん、教育長と共に力を合わせて埋め、より良い教育委員会を目指して頑張っていきたいと思います。来年のドラゴンズも頑張ってほしいものです。大松さん、長い間ほんとうにありがとうございました。



山下新委員長